

令和元年度 山形県立米沢東高等学校 学校評価

○ 校訓・教育精神

修 誠

「修誠」を校訓として、次の陶冶に努めることをもって教育精神とする。
◇ 美しい品性 ◇ 高い知性 ◇ 篤い至誠

○ 教育目標

- 1 主体的に学び、未来を創造できる人を育てる。
- 2 至誠と責任を重んじ、社会に貢献できる人を育てる。
- 3 美しい品性を備え、真理と文化を愛する人を育てる。
- 4 高い知性と健康な身体をもち、自立できる人を育てる。

○ 目指す学校像

- 1 「修誠」の精神を継承し、文武両道をめざす学校
- 2 自立した学習者をめざし、生徒が主体的に学び、高め合う学校
- 3 進学型単位制の特色を生かし、一人ひとりの夢を達成できる学校
- 4 高い志と広い視野を持ち、地域に貢献する学校

◎特に成果が見られた取組 ○成果が見られた取組 △さらに取り組む必要がある課題					
重点目標		具体的方策	達成状況と今後の課題（自己評価 A:達成／B:概ね達成／C:やや不十分／D:不十分）	自己評価	学校関係者評価
1	学力の三要素のバランスのとれた学力の育成とそれを支えるリーディングスキルの養成	① 授業改善による「主体的・対話的で深い学び」の実現	○各教科・科目における授業等改善の取組 △学習に主体的に取り組む生徒の増加傾向 △センター試験等の結果	B	◎何度か授業を参観したが、先生と生徒の関係がたいへんよく、授業に主体的に取り組む姿が見られた。学ぶ楽しさを実感させる授業が行われている。
		② 思考力・判断力・表現力の育成とその評価方法の研究	◎課題探究学習への取組 ◎朝学習「読む」の継続 ○定期考査問題の工夫 △推薦・AO入試の結果		◎課題探究学習をはじめとする様々な取組を、「学びによる〈自己更新〉」が行われるものとして、高く評価したい。
		③ 知性や人間性を磨くための読書の推進(「ビブリオバトル」の実践・普及)	◎知的書評合戦「ビブリオバトル」の取組 ○読書意欲を喚起する広報活動 ○図書委員会活動の活発化		△課題探究学習等の取組によって本当に思考力が培われているか、具体例の中で検証していくことも有効と考える。
2	個々の生徒への理解に基づく自ら判断し行動できる生徒の育成	① 自主的・自律的な生活態度と公共心の養成	○校訓「修誠」に基づく生徒指導(端正な服装など)と自覚 ○「チーム米東」体制による生徒指導 △判断・行動の幼さ	B	◎落ち着いた学校環境の中で規律ある態度が見られて好ましい。
		② 自他を尊重し、高め合う集団づくり	◎迅速で組織的ないじめ防止対策 ◎校内生活状況調査の実施 △多様性を認め合い尊重する態度		◎教職員全体が「個の理解」に努めていることに感謝したい。
		③ 自主的・創造的な生徒会活動とタイムマネジメントを意識した効率のよい部活動の推進	◎自主的な生徒会行事の企画・運営 ◎部活動への積極的参加 ◎部活動時間の適正さ ○全国大会への出場		○個に応じた指導は難しさが増している。集団の中での役割を通して、自己有用感を高めながら、社会規範に沿って判断・行動できる人物を育てていきたい。
3	未来を拓く力をつける探究型学習とキャリア教育の推進	① 高大接続改革への対応と県内大学等との連携充実	○各教科・科目での研究と対応 △県内大学・短大等との連携	B	○進学した先輩の「合格体験」を知るだけでなく、その後キャリア・アップした先輩の話も聞かせたい。大学・短大の「キャリア支援センター」等と関係できないか。
		② 高い志の育成と個性を伸ばすキャリア教育の推進	○計画的なキャリア教育の実施 △生徒自身の主体的な進路探求 △進路情報の保護者との共有		△目標とする大学など、現状よりも早い段階での目標設定が必要ではないか。
		③ 総合的な探究の時間における、課題探究学習(i-Seeプロジェクト)の充実・発展と主体的な探究活動としてのキャリア講座の充実	◎課題探究学習での地域協力者との連携 ○課題探究学習の在り方の見直し △理系分野の探究活動での外部との連携		○課題探究学習が、「調べ」学習から「自ら考え、まとめる」活動に発展するのは素晴らしいことである。
4	健康で安全な学校生活の向上	① 健康・安全に対する正しい理解と自己管理能力の養成	○消費者教育の実施 ○防犯や健康に関わる各講話の実施 △自己管理能力の向上	A	◎「健康で安全な学校生活の向上」については、学校としてよく取り組んでいる。
		② 「いのち」の教育の推進と教育相談の充実	◎カウンセラーによる「悩みごと」相談 ○精神衛生指導委員会の組織的対応 △猛暑時の熱中症(的症状)予防		○思春期には「悩みごと」が付きもの。カウンセラーに相談しやすい環境を整えることも大事である。
		③ 学習環境の整備と危機管理・防災体制の充実	◎自転車駐輪場に向けた「安全カメラ」の設置 ○避難訓練等による防災意識の向上 △グラウンドの整備		◎「安全カメラ」の設置等、実効ある取組を高く評価したい。
5	外部団体との連携・働き方改革の推進による活力あふれる学校づくり	① 国際交流活動や地域貢献活動、校外活動等への積極参加	◎海外留学支援やスピーチコンテストへの積極的参加 ◎地域行事・中部コミセン活動への協力 △地域活動やボランティア活動に積極的に関わる生徒の一層の増加	B	◎外部・地域とのかかわりある活動については、時間と労力が大きく必要であるが、多く取り入れつつあることを評価したい。
		② 情報発信と学校評価活動による開かれた学校づくり	○学校ホームページの活用 ○学校評価活動の着実な実施 △学校の魅力の一層の発信・PR		◎吹奏楽班の県大会金賞等、素晴らしい成果がある。一層のPRに努めてほしい。
		③ 本校の「部活動方針」によって部活動の在り方を改善する	◎本校「部活動方針」の策定と公表 ○部活動時間の予定・結果の公表 △部活動による超過勤務の削減		△授業内容、部活動等、要点を絞り込み、時間を意識して取り組むことで教員の負担を軽減してほしい。
		④ 修誠会の協力を得て、保護者の理解のもとで、教職員の「働き方改革」を推進する	◎「教員の働き改革」を踏まえた修誠会との連携 △過労死ラインを超えるような長時間勤務の解消		△教員の過剰な勤務や負担を軽減することは実に大切であり、一層進めてほしい。

総合評価

- ◎「修誠」という校訓を活かしつつさらなる発展を目指している点を評価できる。「変化への対応」は重要だが、自らの足もとをしっかり確認することが重要である。
- ◎教員の誠実な指導・支援が、学校に落ち着きと活力をもたらしている。「学習は真剣に、部活動は全力で、行事は生き生きと」取り組む生徒の姿が見られる。
- 課題探究学習については、「調べ学習」の域を脱して「課題解決」を目指す学習に改善されつつある点で評価できる。
- 地域とのつながりを一層もつようになり、学校の外で活動・活躍する生徒の姿がこれまで以上にみられるようになった。
- 生徒の安全・安心が保たれる教育環境の整備、防災に向けた取組に今後とも努めることが大切である。
- △キャリア教育については、「今」だけにとらわれず、「将来の自分」を見つめることができるよう、連続性をもたせる必要がある。生徒の主体的な進路探求が大事である。
- △「米沢東高校」という個性をさらに伸ばし、米東らしさを思い切り出せるようにするべきである。
- △国公立大学への進学者について、一層の増加を目指すべきである。

【生徒評価】

i-Seeプロジェクトの意義を十分理解し、積極的に取組んでいる。」

